

事務事業名		鷹生ダム緑地維持管理事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業
政策体系	政策名	0 4 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間	
	施策名	1 5 良好な生活空間の創造		区分	
	基本事業名	0 4 公園・緑地の整備		単年度繰返	
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入	
所属	部課名	都市整備部建設課		【開始年度】	
	課長名	長岩 智徳		平成19 年度～	
	係名	業務係	電話	0192-27-3111	
	担当者	吉田 裕勇	内線	312	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分	
鷹生ダム緑地維持管理事業は、ダム管理者である岩手県から大船渡市に委託されている。鷹生ダムの緑地で人々が自然と親しめるように、適切な維持管理のもとに安らぎと四季を味わう空間を提供することが業務の目的である。 具体的な内容として、管理所、監視所トイレの開閉、トイレ水源維持作業、管理所清掃、監視所トイレ清掃、植栽・緑地帯の維持管理(除草、草刈)、広場清掃がある。 業務の内容上、地理的な面を熟知していること、緊急時の迅速な対応が必要なことから、地元である甲子地域公民館に市から再委託している。 事業費は地域公民館への委託費として支出される。				E 一般	
全体計画(※期間限定複数年度のみ)				事務事業区分	
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		
			都道府県支出金		
			地方債		
			その他		
	一般財源				
	事業費計(A)	0			
	人件費	正規職員従事人数			
延べ業務時間					
人件費計(B)		0			
トータルコスト(A)+(B)				0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
管理所、監視所トイレの開閉、トイレ水源維持作業、管理所清掃、監視所トイレ清掃、植栽・緑地帯の維持管理 ※甲子地域公民館への委託		ア	ダム周辺の除草、草刈面積
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	ダム管理所展示室開閉日数
管理所、監視所トイレの開閉、トイレ水源維持作業、管理所清掃、監視所トイレ清掃、植栽・緑地帯の維持管理 ※甲子地域公民館への委託		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
鷹生ダム緑地 鷹生ダム緑地利用者		名称	
		カ	鷹生ダム緑地面積
		キ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク	
(鷹生ダム緑地が)良好に維持される (鷹生ダム緑地利用者に)安らぎと四季を味わう空間を提供してもらう		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		名称	
公園・緑地が確保されている。		サ	施設の不具合件数
		シ	施設の不具合対応率
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	年度						
		2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	3,476	3,484	3,844	4,023	4,290
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	3,476	3,484	3,844	4,023	4,290	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
延べ業務時間		時間	20	20	20	20	20	
人件費計(B)		千円	80	80	80	80	80	
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,556	3,564	3,924	4,103	4,370	
⑤活動指標	ア	m	26,300	26,300	26,300	26,300	26,300	
	イ	日	311	324	359	360	359	
	ウ		0	0	0	0	0	
⑥対象指標	カ	m	33,000	33,000	33,000	28,300	28,300	
	キ							
	ク							
⑦成果指標	サ	件	0	0	0	0	0	
	シ	%	0	0	0	0	0	
	ス							

事務事業ID	1305	事務事業名	鷹生ダム緑地維持管理事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成18年度に鷹生ダムが完成したことにより、鷹生ダムの緑地で人々が自然と親しめるよう、適正な維持管理のもとに安らぎと四季を味わう空間を提供するため開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	平成19年度から鷹生ダム緑地維持管理事業を実施した。 県からの委託料は、労働単価の見直し等で増額傾向にある。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特に要望等はなし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ 鷹生ダムの緑地を良好に維持管理することにより、快適な都市環境の創造につながっている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 過去に締結した協定を基に、ダム管理者である岩手県からの委託を受け、市が事業を実施しており妥当ではあるが、現状は県と地元間で実施したほうが、効率的である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ ダム緑地が良好に維持されることにより、利用者に安らぎと四季を味わう空間を提供してもらえるので適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ この事業に対する苦情・要望は寄せられていないことから、向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 鷹生ダム緑地の適切な維持管理が行われず、利用者に安らぎと四季を味わう空間を提供することができなくなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 県から委託された金額で地元へ再委託しているため、事業費の削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 過去に締結した協定をもとに地元へ再委託しているが、県と地元間で実施することで市の人件費を削減できる。市が入ることで、業務が非効率化している。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 県が管理するダムを県の積算した金額で委託し、同じ金額で再委託しており、費用負担は適正である。また、ダムの利用者は不特定多数であり、受益者負担はなじまない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	現状維持で継続して事業を実施する。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	緑地は良好な状態が維持できていて事業費も適切であるため、現状維持で継続して事業を実施する。